



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい

夢道場・南小だより

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

令和5年7月19日
第15号 文責 鈴木 博貴

南小の拘り『安心・安全、命を大切にする教育の推進』【7月1日は国民安全の日】

【全国安全週間スローガン】『高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場』

国は昭和35年に「人命尊重」という基本理念の下、7月1日を「国民安全の日」としました。さらに、7月1日から7月7日までを「全国安全週間」とし、あらゆる危険に対する安全面の総点検や安全教育の強調実施を啓発・推進しています。本校でも、日常の教育指導だけでなく、命の大切さを児童に訴える「お話朝会」等での指導をはじめ、埼玉県西入間警察署にご協力をいただいたの全校を挙げた「交通安全教室」を実施しました。また、「防災無線によるシェイクアウト訓練」、水泳指導前の「水泳事故防止指導」や「着衣泳体験」等を実施しました。さらに、教職員対象に「心肺蘇生法・AED活用研修」、「食物アレルギー等によるアナフィラキシー症状対応研修」、業者に依頼しての「遊具の安全点検」や「AED点検」、市の「定期監査」等、日常の安全点検の一層の強化を行い、様々な危機管理対策を実施しています。



【地域の皆様のより一層のご協力をお願いします！ 交通事故防止・不審者対応・熱中症対策】

毎日、元気に登校してくる南っ子たちですが、登下校中や放課後の外遊び等でも、交通事故、熱中症、不審者等の事故や事件に巻き込まれる危険性があります。交通事故について、「飛び出し」、「自転車事故」が上位を占めており、不審者についても、防犯速報で市内の不審者情報が頻発しています。熱中症については、学校でも登下校中の「水分補給」や「マスクを外す指導」等を行っております。南小では、「安心・安全のための見守り隊」に参加して下さる方を大募集しております。児童の登下校に合わせての散歩や買い物、花壇の水やりなど、無理なく児童の見守りをしていただければ非常に有難いです。是非とも、本校児童のかけがえのない大切な「命」を守るためにご協力をお願いいたします。

【交通安全教室】『かけがえのない一番大切な命を守るために！交通事故の絶無を！』

埼玉県西入間警察署の署員の方々、毎日安全指導にご尽力くださっている交通指導員の皆様や本校スクールガードリーダーの □□□□□ 様を招聘し、交通安全教室を実施しました。今年度は、3年ぶりに校庭に仮想道路や信号機、路上駐車等の車等を設置し、全学年で、交通ルールや交通マナー、交通事故の危険回避能力を養うためのご指導をいただきました。1・2年生は、横断歩道の渡り方を中心に、『交通事故防止のための5つの行動』＝「もしかして(危険予測)・とまる(一時停止)・みる(安全確認)・まつ(安全確保)・たしかめる(再確認)」と『「は・ひ・ふ・へ・ほ」のお約束』を全員で確認し、「右よし！ 左よし！ 右よし！ 信号よし！」と目と指を使って安全確認し、ハンド・サインで渡る演習を行いました。3年生から6年生は、道路交通法で「軽車両」と位置づけられている自転車の安全な乗り方についても学習しました。合わせて自転車点検の合言葉『ブタベルサハラ』(ブレーキ・タイヤ・ベル・サドル・ハンドル・ライト)や自転車事故では頭部の負傷が致命傷になっていることから、自転車ヘルメットの着用の大切さを学習しました。また、4年生を対象として、学習後の振り返り確認テストを実施し、西入間警察署より自転車免許証が交付されました。



【夢道場・南小『ほっとニュース』】

『南小の安心・安全、命を大切にする学校教育の推進』

『南小・安全の合言葉』＝「自分の命は自分で守る」

本校は、実践的な安全教育の充実を図り、子供たちが自ら考え、行動し、事故を未然に防いだり、回避したりすることのできる「危険回避能力」の育成を推進してまいります。

全国一斉『緊急地震速報・シェイクアウト訓練』

大地震を想定した緊急地震速報。本校は、市の防災無線が発動されると全ての教室ですぐさま授業を中断し、教師の指示に従い、児童たちはシェイクアウト訓練を行います。『命を守る3動作』① DROP! = 姿勢を低く



する ② COVER! = 体や頭を守る ③ HOLD ON! = 揺れが収まるまでじっとしている)の通り、児童全員が無言で机の下にもぐり、主体的に訓練に臨んでいる真剣な姿が見られます。「自分の命は自分で守る」。児童の防災意識の高さが窺えます。

6年生・水難事故防止『浮いて待て！着衣泳体験実習』

毎年、夏を中心に全国各地の海や川で痛ましい水難事故が多発しています。昨年度より、本校で初めて実施した「着衣泳」の体験実習を、今年度も6年生を対象に実施しました。水難事故に遭遇した際の自己救命策の基本は、



「浮いて待て!」。そのままの状態呼吸を確保し、できるだけ体力を使わないように手足を大の字に広げて、水面に浮いたまま救助を待つことです。児童たちは、着衣のまま浮く状態を体験するとともに、ペットボトルやレジ袋を利用して浮くことが有効であることを学びました。さらに、実際に溺れている人を救助する時は、無暗に飛び込んで助けようとするのではなく、水を少し入れたペットボトル等の浮きやすいものを投げ入れ、「浮いて待たせて救助を呼ぶ方法」が有効であることも学びました。

【ひまわりの絆プロジェクト】紡がれる『命の大切さ』

『ひまわりの絆プロジェクト』

とは、平成23年に京都府で発生した交通事故で亡くなった当時4歳の男児が、生前育てていたひまわりを、交通安全防止と命の大切さを深めることを目的に全国に広めている活動です。事故後、担当した警察官が遺族を訪問した際、「私たちの子供が生き残りを残したい。このひまわりがあららちらで咲けば、我が子も色んな所へ行けると思う。」という言葉で種を預かりました。やがてその種は警察署を通じて全国に広がり、毎年沢山のひまわりの花を咲かせています。南小は、昨年よりこの活動に参加。「命の大切さ」の想いを全員で紡いでいます。



《 夢道場・ほっとインフォメーション 》

南小を会場に『ふれあい漢字検定』!

『南小・学びの絆プロジェクト』の一貫としての本校を会場に実施する『ふれあい漢字検定～世代を超えた学び合い～』につきまして、保護者の皆様にはアンケートへのご協力をいただき有難うございました。参加希望状況につきましては、

「お子さんを受検させたいと思いますか」 198名

「家族で参加したいと思いますか」 99名

という結果でした。残りの約半数は、「どちらともいえない」でしたが、「学校で漢字検定が受けられるのはよい」とのご意見も多数ありました。「世代を超えた学び合い」。既にも、多くのご家族の皆様が、お子さんと一緒に受検される予定です。

さらに、「(人手が足りなければ)漢検ボランティアに協力してもよい」とご回答くださった保護者の皆様が非常に多く大変有難かったです。受検当日は、有志の保護者の方々にもご協力いただきます。紙面を借りてお礼申し上げます。

【お問い合わせ先】南小学校 ☎283-6531 (校長) まで

★子どもの特性を理解して下さい★

① 1つのことに注意が向くと周りのものが目にはいらなくなる



② ものごとを単純にしか理解できない



③ そのときどきの気分によって行動が変わる



④ 抽象的なことばだけではよく理解できない



⑤ おとなのまねをする



⑥ おとなに依存しやすい



⑦ 応用的動作ができない



⑧ 物のかけで遊ぶ傾向がある



★交通の方法に関する教則が一部改正になりました★

令和3年4月15日、交通の方法に関する教則及び交通安全教育指針の一部が改正になりました。

① 横断するときは、手を上げて横断する意思を明確に表示

信号機のない道路での横断は手を上げるなどして運転者に横断の意思を明確に伝えることが歩行者の心得として盛り込まれました。



② 自転車乗車時は、全年齢ヘルメットの着用

自転車乗用中の事故の被害を軽減するために、自転車のヘルメットを着用しましょう。

